

# ①聴覚障害教育センターだより

令和2年9月

富山県立高岡聴覚総合支援学校

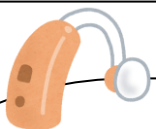
本校は、聴覚障害児教育の専門機関として「聴覚障害教育センター」を併設し、「きこえ」や「ことば」に関する相談に応じています。医療、福祉機関、各種教育機関、補聴器専門店などとの連携を密にし、活動を進めていきます。

先日、予定していた学校見学会、体験入学等の各種行事を行いました。今年度の学校見学会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、個別に対応する形での実施となりました。多くの方々のご参加、ご協力、ありがとうございました。

## <季節は夏から秋へ>



高く澄んだ空、大きく深呼吸したくなるような気持ちの良い季節となりました。スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、実りの秋など、秋がつく言葉がたくさんあります。紅葉狩りに出かけて秋の味覚に舌鼓を打つ、秋の夜長に読書に親しむ等いろいろな秋を楽しみたいですね。そしてお出かけの際は、「葉っぱが赤や黄色に変わっていたね。きれいだったね。葉っぱの色が変わることを『紅葉（もみじ・こうよう）』、見に行くことを『紅葉狩り（もみじがり）』って言うよ。」などと確認をしてあげてください。毎日の生活、会話の中にも学習の機会がたくさんありますね。



### 補聴器・人工内耳の故障を防ぐために…



今年は猛暑でしたね。夏場は汗をかくので水気に弱い補聴器・人工内耳にとってはトラブルの多い時期です。故障を防ぐための管理について見直してみましょう。

#### ○汗カバーをつけていますか？

補聴器に汗が入るのを防ぐためには、汗カバーが有効です。汗対策だけでなく砂ぼこりなど補聴器にダメージを与えるものから守ってくれます。

濡れてしまったら、乾いているものとその都度交換しましょう。



#### ○外したときは、乾燥ケースや乾燥器に入れてありますか？

お風呂に入る前、寝る前など外す前には必ず乾燥ケースや乾燥機に入れましょう。

入れるときは電池を外して、電池ホルダーを開けた状態で入れましょう。



#### ○乾燥剤は、きちんとはたらいていますか？

せっかく、乾燥ケースに入れていても、乾燥剤が古くなっていたら効果がありません。期限を確認して、新しいものに交換しましょう。



## 会話のコツ

難聴児は様々な感覚を組み合わせせて話を聞いています。読話の際には、耳からの刺激(聴覚)と目からの刺激(視覚)の両方を活用し、脳でそれを統合して認知しています。マスクで口元が覆われ話す相手の口形が見えないと、聞き漏らしや聞き間違いが生じやすく情報が抜けてしまうこともあるでしょう。内容を誤解なく伝えるために、次のような方法を試してみてください。

### ○音声で伝えるコツ

- ・顔を正対させる (face to face)
- ・箇条書きのように、短く要点を話す
- ・実物や図、絵等の視覚情報を利用する
- ・話の内容や概要、キーワードをあらかじめ伝えておく (連想ゲームの感覚)
- ・聞きとりやすい言葉を使う (7をシチと言っても通じなければ、ナナと言ってみる)



### ○筆談のコツ

- ・ひらがなでどんどん書く (漢字で書く必要はありません)
  - ・キーワードや名詞だけでよい (整った文章を書く必要はありません)
  - ・空書きも利用する (紙に書く必要はありません)
- \* 会話を楽しむためにはテンポが大切です。そのためにはテンポよく書く必要があります。

参考文献:「難聴児・生徒理解ハンドブック」学苑社



### 学習発表会「聴力測定コーナー」及び「耳の相談日」について

例年、地域の方々や成人の方を対象に学習発表会に併せて聴力測定を行ったり、聞こえや補聴器のことについて本校の耳鼻科の校医に相談する機会を設けたりしておりますが、今年度は新型



コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域の方々や成人の方への案内を中止しております。なお、電話での相談には随時応じておりますので、どなたでもお気軽にご相談ください。

### 【問い合わせ先】

富山県立高岡聴覚総合支援学校

〒 933-0824 高岡市西藤平蔵700番地

教育相談室 (聴覚障害教育センター) 担当 岩本

TEL 0766-63-6385 FAX 0766-63-5884

E-mail takaokachokaku@ed.pref.toyama.jp